

バスアミド[®] 微粒剤

(BASAMID MG)

登録番号 第23478号
 種類名 ダゾメット粉粒剤
 dazomet
 性状 類白色微粒
 有効年限 5年

有効成分 ダゾメット 96.5%
 P R T R ダゾメット (PRTR・1種) 96.5%
 毒性 医薬用外劇物
 包装 10kg×2袋

■特 長

1. **刺激臭が少ない。** 刺激性の臭いが少ないので、周辺の民家などに迷惑をかける心配が少なく毒性も比較的低く、作業者に対する悪影響も少ない薬剤です。
2. **優れた効果。** 広範囲の土壤病害及び、センチュウに優れた効果を発揮します。また雑草に対しても高い殺草効果があります。
3. **散布が簡単。** 微粒剤なので、散粒器または手(不浸透性手袋着用)で簡単に散布できます。そのうえ、均一に散布されたかどうかは目で確認できます。

■適用病害虫・雑草名及び使用方法

(2017年7月18日現在)

作物名	適用病害虫名 及び 適用雑草名	使用量	使用時期	本剤及びダゾメット を含む農薬の 総使用回数	使用方法
キャベツ	苗立枯病(リゾクトニア菌) 株腐病、萎黄病 パーティシリウム萎凋病	20～30 kg/10a	は種または 定植21日前まで	1 回	本剤の所定量を均一 に散布して土壌と混 和する。
はくさい	根こぶ病 ネコブセンチュウ 一年生雑草				
だいこん	ネグサレセンチュウ	10～20 kg/10a	は種21日前まで		
かぶ	パーティシリウム黒点病 根こぶ病、萎黄病 一年生雑草	20～30 kg/10a	は種または 定植21日前まで		
こまつな	萎黄病、根こぶ病		は種10日前まで		
しろな	一年生雑草		は種21日前まで		
ブロッコリー カリフラワー			は種または 定植21日前まで		
つぼみな	根こぶ病	20kg/10a	は種または 定植21日前まで		
チンゲンサイ	一年生雑草				
ひろしまな		30kg/10a	は種または 定植14日前まで		
みぶな みずな	立枯病(ピシウム菌) 根こぶ病	20kg/10a	は種12日前まで		
はつかだいこん	一年生雑草		は種35日前まで		
きゅうり	苗立枯病(ピシウム菌) 苗立枯病(リゾクトニア菌)	200～400 g/m ³		土壌に本剤の所定量 を加え十分混和する。	
	つる割病 半身萎凋病 一年生雑草	20～30 kg/10a	は種または 定植21日前まで	本剤の所定量を均一 に散布して土壌と混 和する。	
かぼちゃ	フザリウム立枯病 苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草				

作物名	適用病害虫名 及び 適用雑草名	使用量	使用時期	本剤及びダゾメット を含む農薬の 総使用回数	使用方法	
メロウ	黒点根腐病 つる割病 半身萎凋病 黒変根腐症 一年生雑草	20～30 kg/10a	は種または 定植21日前まで	1 回	本剤の所定量を均一 に散布して土壌と混 和する。	
	紅色根腐病	30kg/10a				
すいか	苗立枯病(リゾクトニア菌)	200～400 g/m ³				土壌に本剤の所定量 を加え十分混和する。
	にがうり	つる割病 一年生雑草				20～30 kg/10a
ネコブセンチュウ						
トマト ミニトマト	苗立枯病(リゾクトニア菌)	200～300 g/m ³				土壌に本剤の所定量 を加え十分混和する。
	萎凋病 褐色根腐病 根腐萎凋病 半身萎凋病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10a				
	紅色根腐病	30kg/10a				
	青枯病	30～60 kg/10a				
ピーマン	苗立枯病(リゾクトニア菌)	30kg/10a				
	半身萎凋病 萎凋病 一年生雑草					
なす	青枯病	20～30 kg/10a	本剤の所定量を均一 に散布して土壌と混 和する。			
	苗立枯病(リゾクトニア菌) 半身萎凋病 ネコブセンチュウ 一年生雑草					
ばれいしょ	そうか病 粉状そうか病 黒あざ病	30kg/10a		植付21日前まで		
	萎凋病 一年生雑草					
とうがらし類	疫病、青枯病 苗立枯病(リゾクトニア菌)	30kg/10a		定植21日前まで		
ねぎ	黒腐菌核病	30～60 kg/10a		は種または 定植14日前まで		
	紅色根腐病 ネギハモグリバエ	30kg/10a				
	白絹病、萎凋病 小菌核腐敗病 根腐萎凋病 ネコブセンチュウ	20～30 kg/10a				
	苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草					
わけぎ				は種または 定植21日前まで		

作物名	適用病害虫名 及び 適用雑草名	使用量	使用時期	本剤及びダゾメット を含む農薬の 総使用回数	使用方法
たまねぎ	黒腐菌核病	30～60 kg/10a	は種または 定植21日前まで	1 回	本剤の所定量を均一 に散布して土壌と混 和する。
	紅色根腐病	30kg/10a			
	乾腐病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10a			
	苗立枯病	20～40 kg/10a	秋期 (翌春は種)		
	黒穂病	20～30 kg/10a			
	一年生雑草	10～20 kg/10a			
葉たまねぎ(苗床)			は種14日前まで	本剤の所定量を均一 に散布して浅く混和 する。	
にんにく	イモグサレセンチュウ 紅色根腐病 一年生雑草	30kg/10a	植付28日前まで	1 回	本剤の所定量を均一 に散布して土壌と混 和する。
らっきょう	根腐病 ネコブセンチュウ		植付21日前まで		
にら	乾腐病 一年生雑草				
	紅色根腐病				
にんじん	萎凋病、根腐病 しみ腐病 ネコブセンチュウ 一年生雑草	20～30 kg/10a	は種または 定植21日前まで		
パセリ	疫病、萎凋病 苗立枯病(リゾクトニア菌) 一年生雑草	30kg/10a	は種10日前まで		
セルリー	萎黄病 一年生雑草				
あしたば	苗立枯病(リゾクトニア菌)				
しゅんぎく	萎凋病 一年生雑草	20kg/10a	は種21日前まで		
ごぼう	萎凋病	20～30 kg/10a	は種28日前まで		
葉ごぼう	黒あざ病 一年生雑草				
もりあざみ	半身萎凋病	30kg/10a	は種21日前まで		
レタス	ネグサレセンチュウ				
非結球レタス	一年生雑草	20～30 kg/10a	は種または 定植14日前まで		
	すそ枯病 根腐病				
食用ぎく	センチュウ類 (ハガレセンチュウを除く)	20～30 kg/10a	は種または 定植21日前まで		
	萎凋病 半身萎凋病 一年生雑草				
	青枯病				
ふき	半身萎凋病 一年生雑草	30kg/10a			

作物名	適用病害虫名 及び 適用雑草名	使用量	使用時期	本剤及びダゾメット を含む農薬の 総使用回数	使用方法
みつば	立枯病	20kg/10a		1 回	本剤の所定量を均一に散布して土壌と混和する。
豆類(未成熟) (ただし、えだまめ、 実えんどう、さや えんどう、さやい んげんを除く)	苗立枯病(リゾクトニア菌) 茎腐病 一年生雑草	30kg/10a	は種21日前まで		
さやいんげん	苗立枯病(リゾクトニア菌) 葉腐病 一年生雑草	20～30 kg/10a			
えだまめ	ダイズシストセンチュウ	30kg/10a	は種または 定植21日前まで		
さやえんどう 実えんどう	苗立枯病(リゾクトニア菌) 茎腐病 一年生雑草				
かんしょ	ネコブセンチュウ 紫紋羽病 つる割病 一年生雑草	20～30 kg/10a	植付21日前まで		
こんにゃく	根腐病、白絹病 乾腐病 一年生雑草				
さといも さといも(葉柄)	ネグサレセンチュウ				
しょうが	根茎腐敗病	30～60 kg/10a			
	一年生雑草	20～30 kg/10a	定植21日前まで		
葉しょうが	根茎腐敗病				
みょうが(花穂) みょうが(茎葉)	立枯症 一年生雑草	30kg/10a	定植42日前まで		
いちご	萎黄病、萎凋病 炭疽病、芽枯病 一年生雑草	20～30 kg/10a	仮植または 定植21日前まで		
	青枯病、疫病	30kg/10a			
ほうれんそう	ハウレンソウケナガコナダニ 立枯病、萎凋病 株腐病、根腐病 一年生雑草	20～30 kg/10a	は種21日前まで は種10日前まで (地温20℃以上)		
てんさい	叢根病、苗立枯病	200～400 g/m ³	秋期 (翌春は種)		
やまのいも	根腐病 褐色腐敗病 一年生雑草	20～30 kg/10a	植付21日前まで		
つるむらさき	ネコブセンチュウ		定植21日前まで		
しそ	青枯病 一年生雑草	30kg/10a	は種14日前まで		
モロヘイヤ	ネコブセンチュウ		定植30日前まで		
チャービル	一年生雑草	20kg/10a	は種42日前まで		

作物名	適用病害虫名 及び 適用雑草名	使用量	使用時期	本剤及びダゾメット を含む農薬の 総使用回数	使用方法		
花き類・ 観葉植物	苗立枯病(リゾクトニア菌) 株腐病、首腐病 球根腐敗病 半身萎凋病 萎凋病、萎黄病 白絹病、立枯病 根頭がんしゅ病 ネコブセンチュウ	20～30 kg/10a	は種または 植付前	1 回	本剤の所定量を均一 に散布して土壌と混 和する。		
	一年生雑草	20～60 kg/10a					
	青枯病	30kg/10a					
カーネーション	萎凋細菌病	20～30 kg/10a	植付前				
き く	センチュウ類 (ハガレセンチュウを除く)						
ストック	苗腐病 萎凋病						
ぼたん しゃくやく	根黒斑病	30～40 kg/10a	植付前			は種または 植付前	本剤の所定量を均一 に散布して土壌と混 和する。
スターチス	萎凋細菌病	20～30 kg/10a	植付前				
グロリオサ	紅色根腐病						
サイトピー	腰折病						
さくらそう	軟腐病						
トルコギキョウ パンジー	根腐病						
アイランドポピー	萎縮病						
せんりょう	立枯病 一年生雑草						
つつじ類	センチュウ類						
樹木類(苗木)	一年生雑草						
なし	白紋羽病			100g/m ²	夏期～秋期	被害株跡地に本剤の 所定量を均一に散布 して土壌と十分混和 する。	
ぶどう		50～100 g/m ²					
りんご		1株当り(4m ²) 400～600g					
桑	紫紋羽病 白紋羽病						
芝	一年生雑草	目土用土 1m ³ 当り 100～200g	雑草発生前	土壌に本剤の所定量 を加え十分混和する。			
		30kg/10a	は種または 定植21日前まで				
たばこ	センチュウ類 角斑病、野火病	10～20 kg/10a	秋期 (翌春植付)	本剤の所定量を均一 に散布して土壌と混 和する。			
	立枯病、疫病 黒根病 一年生雑草	20～30 kg/10a					
	センチュウ類 疫病	5～10 kg/10a	春期 (植付前)		本剤の所定量を畦面 に散布して土壌と十 分混和する。		

△ 効果・薬害などの注意

1. 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。
2. 処理する前に耕起整地してください。
3. 本剤は土壤中の水分によって分解し、ガスを発生することによって効果を発揮するもので、土壤の種類、水分含量、温度などにより効果にふれが出るので、以下のことに十分留意してください。
 - (1) 地温が10℃以下の時には使用しないでください。
 - (2) 砂質土壤や乾燥した土壤で使用する場合は、ていねいに混和した後、灌水して適度の水分を与えてから被覆してください。
 - (3) 次の場合はガスの拡散が遅いので、被覆期間を適宜延長してください。
 - ・重粘土質の土壤の場合
 - ・降雨などにより土壤水分が多い場合
 - ・地温が低い（15℃以下）場合
4. センチュウが多発する条件、あるいはトマト、なすではセンチュウ類に対する効果が劣る場合があるので、センチュウを防除対象とする場合には、他の防除方法と併用して使用してください。
5. ガス抜きが不十分であると薬害を生じるおそれがあるので、少なくとも2回は耕起によるガス抜きを実施してください。なお、ガス拡散の遅い条件の場合は特にていねいに行ってください。
6. 全面に処理する場合、深さ15～25cmに土壤と十分に混和してください。特にやまのいもに使用する場合は、深さ50～60cmに土壤と十分に混和してください。混和後ビニールなどで被覆または鎮圧散水してガスの蒸散を防いでください。7～14日後被覆を除去して、ガス抜きを行ってください。
7. 苗立枯病または芝の目土用土に処理する場合、本剤を十分混和後ビニールなどで被覆し、7～14日後被覆を除去して、ガス抜きを行ってください。
8. 作物に直接ふれると薬害を生じるので、周辺に作物がある場合にはかからないように、十分間隔をおいて薬剤を処理してください。
9. 温室やビニールハウスなどの施設内に作物がある場合、薬害を生じるおそれがあるので使用しないでください。
10. りんご、桑、なし及びぶどうに使用する場合は、被害株を抜き取った跡地の周辺部を含めてできるだけ広めに散布し、深さ25～40cm（りんごの場合は深さ40cm）に土壤と均一に混和してください。本剤処理20日後に被覆を除去して耕起し、翌春に植え付けてください。また、りんご、なし及びぶどうでは、植え付けた年は果実を収穫しないでください。
11. ごぼうに使用する場合は生育抑制・岐根などの薬害を生じるおそれがあるので、処理から、は種までの期間を十分とり、ガス抜きをていねいに行い、発芽テストなどで安全を確認の上、は種してください。
12. しょうが及び葉しょうがの根茎腐敗病に対しては、多発生条件では効果が不十分な場合があるので注意してください。
13. は種または定植の20～10日前に使用する場合は、地温20℃以上の条件に限って使用してください。
14. 芝の目土に処理する場合は、目土中に含まれる雑草種子を殺す目的で目土を処理するものであるため、除草剤として芝生に直接散布することのないように注意してください。
15. 葉たまねぎ（苗床）及びたまねぎの、は種14日前までに使用する場合は、均一に散布後、レーキなどで浅く（2～3cm）混和し、ビニールなどで被覆してください。7日後に被覆を除去し、さらにその後7日間放置し、は種前にレーキなどで浅く整地によるガス抜きを行ってください。
16. たまねぎに秋期に使用する場合は、均一に散布後、十分混和し、ビニールなどで被覆してください。約20日後に被覆を除去してガス抜きを行ってください。は種は翌春に行ってください。
17. てんさいに秋期に使用する場合は、均一に散布後、十分混和し、ビニールなどで被覆してください。約20日後に被覆を除去してガス抜きを行ってください。は種は翌春に行ってください。
18. たばこに使用する場合は、次のことに注意してください。
 - (1) 秋期に使用する場合は、均一に散布後、十分混和してください。混和後鎮圧してガスの蒸散を防ぎ翌春耕起した後、植え付けてください。
 - (2) 春期に使用する場合は、本剤を散布後、十分混和してください。混和後そのまま放置し、2週間後に畦立てをし、その2日後にビニールなどで被覆してください。さらに2週間後に植え付けてください。
19. ミツバチの巣箱周辺での使用はさけてください。
20. 使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合には、病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。
21. 適用作物群に属する作物またはその新品種に初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお病害虫防除所等関係機関の指導を受けるようにしてください。

⚠ 安全使用上の注意

22. 医薬用外劇物。取扱いには十分注意してください。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けさせてください。使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けてください。
23. 眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意してください。眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けてください。
24. 皮ふに対して刺激性があるので、皮ふに付着しないよう注意してください。付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落としてください。
25. 本剤の処理の際は、吸収缶付き（活性炭入り）防護マスク、不浸透性手袋、長ズボン・長袖の作業衣、ゴム長靴などを着用してください。ガス抜き作業の際及び、ガス抜き作業前に施設内に立ち入る場合にも、同様の防護マスクを着用してください。また、薬剤が皮ふに付着したり、粉末や発生するガスを吸い込んだりしないよう注意し、作業後は直ちに身体を洗い流し、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換してください。
26. 作業時に着用していた衣服などは他のものとは分けて洗濯してください。
27. かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意してください。
28. 作業に際してはガスに暴露しないよう、風向きなどを十分配慮してください。
29. 作業中及びくん蒸中の圃場などへ、小児など作業に関係のない者や、家畜・家禽が立ち入らないよう十分注意してください。
30. 住宅地付近での使用に当たっては、ガスによる危被害の発生防止に十分配慮し、特に住宅に隣接する圃場では使用しないでください。
31. 水にふれると有毒なガスが発生するので保管及び取扱いに注意してください。

水産動植物への影響：水産動植物（魚類、甲殻類、藻類）に影響を及ぼすおそれがあるので河川、養殖池等に飛散、流入しないように注意して使用してください。

散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないでください。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理してください。

保管：密封し、直射日光をさけ、食品と区別して、小児の手の届かない冷涼・乾燥した所にカギをかけて保管してください。種子・苗・肥料、他の農薬などと隔離してください。盗難・紛失の際は警察に届け出てください。

- 火災時は、適切な保護具・自給式呼吸器を着用し風上から消火剤などを用いて消火に努めてください。
- 漏出時は、保護具・自給式呼吸器を着用し掃き取り回収してください。
- 移送取扱いは、ていねいに行ってください。
- 使用量に合わせ秤量し、使いきってください。空袋は圃場などに放置せず、適切に処理してください。

●バスアミド微粒剤の上手な使い方

- ①クロルピクリン剤との同時処理は、作物への影響期間が長くなるため、絶対さけてください。
- ②施設内で使用する場合、十分換気をして作業を行ってください。本剤は地温が高いほどガスの拡散が速いので、作業はできるだけ早朝など地温の低い時に行い、散布後速やかに土壌混和し被覆してください。大型連棟ハウスでは、散布から土壌混和、被覆までの一貫作業を小面積ごとに順次行うようにしてください。